

有限会社 ほなみ

■ 経営の合理化による所得向上で後継者の確保



〈法人の概要〉

所在地: 〒069-0218 南幌町南 18 線西 21 番地

代表者: 代表取締役 長澤一昭

構成員: 20 名 (構成農家 14 戸)

役員: 6 名 常時雇用者: 12 名

設立: 平成 14 年 2 月 資本金: 995 万円

事業内容: 水稻／農作業受託、パークゴルフ場運営

水稻 155ha、小麦 39ha、豆類 6ha、てん菜 8ha、キャベツ 4ha、ブロッコリー 8ha、長ねぎ 3ha、軟白長ねぎ 0.5ha、ピーマン 1ha(H22 年)

経営面積: 227ha

農作業受託: 融雪剤散布 57ha、耕起 65ha など(H22 年)

売上高: 3 億 8,570 万円(H21 年) 交付金も含む

電話: 011-378-1471 FAX: 011-378-1471

E-mail: honami@cube.ocn.ne.jp

〈法人のあゆみ〉

- | | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 14 年 | 有限会社ほなみを設立
構成員 16 名(16 戸)、経営面積 164ha でスタート |
| 16 年 | 社会保険に加入開始、従業員から新規構成員に 2 名加入し、構成員 18 名(16 戸)
農地 3ha 購入屋内パークゴルフ場を開設 |
| 18 年 | 従業員 1 名採用、新規構成員に 4 名(2 戸)加入し、構成員 22 名(18 戸) |
| 20 年 | 農地 3.5ha 購入 |
| 21 年 | 農地 22.6ha 購入 |
| 22 年 | 第三代代表取締役長澤一昭氏就任、農地 6.2ha 購入
現在、構成員 20 名(14 戸)、経営面積 227ha に拡大、農作業受託 10 戸延べ 33ha |

〈設立の経緯・設立後の状況〉

- ・構成員の経営形態は水稻中心とした複合経営であったが、米価下落により個人所得の低下が顕著となり、個人経営では将来の集落維持ができないという危機感を持っていた。
- ・平成 9 年に西幌地区の農家 17 戸で設立した「南幌ほなみ利用組合」で籾乾燥調製施設を運営していく中で、すでに、構成員の年齢も高齢化しており、法人化することで後継者が安心して加入できる環境を作ることも考え(Uターンの可能性のある後継者の存在)、法人化に向け検討委員会を平成 12 年 11 月に設置し、検討を開始。
- ・農協が先進地視察、法人の事業計画策定、構成員・家族に対する面談・説明会の実施や報酬の分配等に係るルールの策定、定款の作成・登記などの事務手続について支援。
- ・平成 14 年 2 月に有限会社ほなみを構成員 16 名(農家 16 戸)で設立し、経営面積 164ha でスタートした。
- ・構成員のうち希望者からは、法人が農地を買い取り、法人の財務を安定させるため、賃料は低めに設定。また、個人経営時の所得水準を勘案して報酬を分配した。
- ・平成 16 年に社会保険に加入開始。冬期収入源確保と消費者交流のため、屋内パークゴルフ場を開設するとともに利用客に米、軟白長ねぎ、豆類などの販売を開始。
- ・平成 21 年には、売上高 3 億 8,570 万円を達成。22 年現在、構成員 20 名(14 戸)で、経営面積は 227ha に拡大し、生産物は、パークゴルフ場で直売はしているもののほぼ全量農協出荷。10 戸から水稻、小麦の収穫・調製などの農作業を受託している。

〈法人経営で生じた課題と対応策〉

- ・人数が多く意見を聞き意志決定するのが遅くなるが、意志疎通が重要であるため、体制を整備。
- ・後継者の育成・確保(新規従業員も含む)が必要であるため、農業改良普及センターと連携して栽培技術講習会や試験展示ほの設置による調査研究を実施。

〈法人経営のメリット・デメリット〉

- ・個人経営のままではできなかった、経営の合理化による所得の安定、経費の削減、余剰労働による新規作物の導入ができた。
- ・個人経営時よりも経営に危機感がなく安心できるが、発想力が乏しくなる。
- ・合意形成が必要で、一人で物事をきめられない。

〈法人が継続するためのポイント〉

- ・意志疎通がスムーズに行われるための体制づくり。
- ・構成員の高齢化により経営に及ぼす影響を緩和するために、次世代を担う20代・30代の育成。

〈これから法人化を目指す農業者へのメッセージ〉

- ・意志疎通をいかにうまく図っていくかが重要(設立前、設立後も)。

〈特徴的な活動や取り組み〉

- ・平成16年から社会保険に加入。
- ・平成16年11月から冬期労働確保と収入源確保、消費者交流のため、屋内パークゴルフ場を開設するとともに利用客に米、軟白長ねぎ、豆などを販売。法人の中で高齢の方が担当。
(パークゴルフ年間売上高:800~1,000万円)
- ・総務部、米麦部、畑作部、施設部、機械部の5部門構成をとっており、リーダー、サブリーダーを配置。
- ・水稲、小麦の収穫・調製などの農作業を受託。

〈経営目標と将来の展望〉

- ・現時点では、経営は安定しており、部門構成等を変更する必要はなく、安定経営を継続。
- ・20代・30代の構成員を育成し、将来的には規模拡大を図る。

〈視察等の受入〉

詳細については要相談。有料。
連絡先: 011-378-1471 (有限会社ほなみ事務所)